

平成27年度 一般選抜中期日程／国際商学科 外国語  
出題の意図と解答の傾向

I (140点)

問1

【解答】

ア from	イ at	ウ on	エ with
--------	------	------	--------

【解答の傾向】

前置詞を問う選択問題であり、ウ、エはよくできていた。特に、ウは頻出のイディオムであったため正答が多かった。

問2

【解答例】

- (i) 肖像画家だったおばあさんと同じく、人間を描く画家になると思われていた。
- (ii) 2次元的な絵より3次元的な彫刻の方が人間の形の本質を表すことができる。

【解答の傾向】

(i) について

全体的によく書けていた。中には「画家になる」ではなく、「彫刻家になる」のが自分の将来像だと勘違いした答案も見受けられた。

「portraitist」は肖像画家が妥当な邦訳だろうが、中には写真家、芸術家、学芸員といった誤訳もあった。(そのままポートレイティストとしているものもあった。)

「祖母と同じ道をたどる」や「後を継ぐ」とだけあり、その道が「画家」であることを明記していない答案も散見された。また、「祖母(おばあさん)」ではなく、「おばさん」、「祖父」、「母親」、「母」などの誤訳も見受けられた。

(ii) について

「彫刻が好き(関心がある、向いている)」と明記している答案は少なかった。他方、「絵を描く際、人の特徴をつかむのが容易だと思っていた」という答案が多かった。誤解の例として、展示会に「自分の作品よりも優れているものがあつた」や「自分の作品があつた」などの答案も見受けられた。

「彫刻」という単語の訳出ではなく、「立体的な形」というような抽象的な表現の答案も目立った。注に「sculpt=彫刻する」と記載があるため、その名詞形である「sculptures」をしっかりと訳出する必要があると思われる。「3次元的な彫刻」や「人間の本質を表す」といった模範解答に近い答案は皆無だった。

【その他】

(i) と (ii) を逆に回答した答案も散見され、また、日本語自体がおかしいものがあった。

### 問3

【解答例】

この企画では、彼女は扱いにくい素材として悪名高い青銅を使って仕事をすることにした。

【解答の傾向】

コンマ以降が同格で bronze 「青銅」の説明であるという構文が理解できておらず、並列で訳している答案が多かった。notoriously 「悪名高いほどに」はほとんど訳出されていなかった。また、誤訳の例としては、challenging 「扱いにくい」を「まだ挑戦したことがない」、「初めて挑戦する」と訳している答案、あるいは changing と誤解したのか「変化させる」と訳している答案も多く見られた。

### 問4

【解答例】

陶製の外型は、最後は砂を吹き付けて取り除くか、ハンマーで叩き壊す。

【解答の傾向】

・・・に砂を掛けるか、またはハンマーで壊される、という完璧な正解は意外と少なかった。特に、ハンマーで「壊される」という回答は少なく、砂をかけたりして磨く、というニュアンスの答案が多かった。

### 問5

【解答】

イ championship

【解答の傾向】

イと答える答案は比較的多く、それ以外の解答としてはアを選択するものもあった。

### 問6

【解答例】

作品は天井から吊り下げられており、人々は作品を中心に、その周囲を歩いて回りながら鑑賞する。

【解答の傾向】

下線部の a 360-degree view of the sculptures という語句がヒントになっており、彫刻を全方位から見えるようにするという点では正答率が高かった。ただし、そのように彫刻を展

示するため、強い釣り糸で天井から吊るすという点では理解にばらつきがあり、鯨との関連を無理につけようとして、「観客は鯨に乗る」といった本文にはない内容に誤解している回答もあった。

## 問7

### 【解答例】

カルドーゾは10年間、体操選手だったので、人体の形を良く理解して人間の彫刻を作ることができる。

### 【解答の傾向】

主人公の経歴と作品の関係を問う設問だが、主人公の経歴のみ、または作品のみの話を書いていて、両者の結びつきを読み取っている回答が少なかった。特に作者の作品と最も深く関係する経歴で、本人が10年間、体操選手だったので、人間の体形をよく理解しているというところが読み取れていない回答が目立った。作品の特徴に関しては、下線部(6)の近くに the person's inner and outer beauty と書いてあるので、全般的に理解度が高かった。

## II

### 問1 (各15点)

#### 「出題の意図」

基本的な英作文の能力を問う問題である。問題は2つ。全体的に出来は割と良好だった。

#### 【問題1】

これが日本の人々がずっと抱いてきた種類の信条です。

#### 【解答例】

This is the kind of belief Japanese people have held all along.

#### 【解答の傾向】

「種類の信条」の「種類」kind of の位置が正しくないものが目立った。たとえば、a belief kind of など。また「ずっと抱いてきた」Japanese people have been believed / felt / held と been を差し挟んだものが多かった。また for long time と a を落としたものも多かった。

#### 【問題2】

私はこの世界にどれくらい多くの民族集団があるかは知らないが、こうした種類の感受性を持っているものは多くはないと思う。

#### 【解答例】

I don't know how many ethnic groups there are in this world, but I don't think there are many that have this kind of sensibility.

#### 【解答の傾向】

前半部分、「どれくらい多くの～知らないが」の箇所で don't know that how many ~ と that を入れたものが目立った。また文頭は Though, Although であるべきなのに However から始めているものもあった。

後半部分、一番気になったのは「多くはないと思う」 I think there are not ~ と本来は I don't think there are ~ とすべき間違いが多かった。また few people とすべきところを little people としたもの、「感受性」を上の記事中の sensibility links と記したのも散見された。

## 問2 (30点)

### 【出題の意図・採点基準】

この問題を通じて受験生は意見や理由を明確に述べられるかどうか、限られた時間内にアイデアを十分に展開させられるかどうか、段落を論理的に構成できるかどうか、また受験生の英語が十分に通じるかどうかを見たいと考えた。「内容」、「構成」、「言語力」を中心に、30点満点で解答を総合的に採点した。

「内容」については、意見や理由、詳細を十分に説明し、論理的に展開させているかを中心に評価した。「構成」については、解答は導入文・本文・結論で構成されているかどうか、“discourse markers” (first, second, one reason is, in conclusion など)や接続詞が正確に尚且つ効果的に使われているかどうかを中心に評価した。「言語力」については、解答を読んで意味が理解できるかどうか、文法・語彙・綴り・句読点が正確に適切に使われているかどうか、受験生は難しい言い回しや語彙を使おうとしているかどうか、使った場合はどのくらい正確に使えたかなどを中心に評価を行った。

### 【解答例】

I think that Hanako should choose to go to an English school in the United States. Of course having a driver's license would be very useful, but she would be able to gain more by living and studying overseas for a month. The main reason is that it will be a good chance for her to practice communicating in English. Of course one month is not enough to master English, but there are few chances for students to actually use English in Japan so this will be a very useful experience for her. Moreover, keeping in touch with the friends she made in the States will provide her with an excellent opportunity to use English in her everyday life after she returns to Japan. It is for this reason that I think Hanako should choose to study at an English school.

### 【解答の傾向】

ほとんどの解答は上記の基準を満たしており、上手に書いている解答が多くあった。時間制限があるにもかかわらず、解答内容を十分に展開させ、ユニークで考え深い内容を

書いた受験者もいた。ギリギリで基準を満たした解答、基準を満たさなかった解答には以下のような傾向が見られた：

1. 構成における問題：解答内容が豊かであったが、“discourse markers”を（正しく）使っていないせいで、理由と詳細・例との関係が明確ではなく、論理的な展開ができていない解答があった。また、簡単な接続詞（and, but など）が抜けている解答が意外に多かった。緊張のあまりでうっかりして書き忘れただけという可能性も考えられるが、このくらいの簡単で、基本的な接続詞は正しく使ってほしい。

2. また、文法に係る問題として以下の例が特に目立った：

あ)「英語学校で勉強することは将来仕事に就く時に役立つだろう」と書きたいが、うまく表現できていない解答が多かった。

X It is useful to study English in the United States when she become a member of society. (「社会人になったら米国で英語を勉強することがためになるでしょう」のような意味になってしまう)

O Studying English in the United States will be useful for her when she becomes a member of society. (for her はあってもなくても良いが、あった方が読みやすいと思われる。ポイントは動名詞を使うことと未来形を使うこと)

X It is helpful for her when she to be an adult.

O It will be helpful for her when she becomes an adult. (他に気になる文法ミスはあるが、未来形を使っていないことが最大な問題)

い)「(海外の英語学校に行けることはなかなかできない貴重な体験なのですが、) 自動車学校はいつでも通えます」と書きたいでしょうが、うまく表現できていないケースを散見された。

X She can get a driver's license every time. (every time = 毎回～するたびに、いつも)

O She can get a driver's license anytime. (anytime = いつでも)

X Going to driving school is can when she graduate from university.

O Going to driving school is something she can do when she graduates from university (「自動車学校に通うことは」と書いた以上、「～できること」でまとめて書くしか方法がない)